

平成30年度 古谿荘に親しむ会・講演会

日本人の日本刀観 ～神器から刀剣男士まで

住 麻 紀 (元佐野美術館学芸員)

古代から現代まで、日本の社会や文化の中で、日本刀がどのように位置付けられてきたのか。
どう変化してきたのか。
また、変わらない思いは…

明治9年の廃刀令以降、
田中光顕伯爵をはじめ
心ある志士たちが、
日本刀を守るための活動に
尽力したこととは。



6/23(土) 午後3時

富士市富士川ふれあいホール多目的室
定員/100人(入場無料)



1981年三島市生まれ。

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科卒業。

2004年から2012年まで(公財)佐野美術館に学芸員として勤務。

在職中の主な短刀展覧会に「東海道の名工たち—正宗から村正まで」(2008年)、「短刀の美」(2009年)など。

佐野美術館渡邊妙子館長との共著に『日本刀の教科書』(2014年、東京堂出版)がある。

現在同館の日本刀初心者講座初級講師。

主催 古谿荘に親しむ会

問合せ先 森 佑司 090-4261-1707